

地域	北海道帯広市	認定日	平成19年2月21日	1 - 18 - 025
事業分類	情報通信	テーマ分類	農工連携、IT	

事業名: リモートセンシング技術を活用したIT農業支援システムによる農業情報配信サービス事業

事業概要(新規性、市場性等)

- ・農業生産コストを削減するための農業生産の効率化と、品質向上を図るための精密な施肥管理を目的として、「客観的な農業情報を提供するリモートセンシング技術」を活用したIT農業支援システムの開発を行う。
- ・人工衛星と産業用無人ヘリコプタにより取得したリモートセンシング画像を解析し、農業情報サービスとして、天候に左右されない確実な小麦収穫情報の提供、日本初の可変施肥情報の迅速な提供。また、可変施肥情報に対応した自動可変施肥機を開発・販売する。
- ・ニーズの高い十勝・網走のJA・農家に対し市場開発を行うとともに、北海道全域でのマーケティング戦略を策定し市場開発を行う。

事業推進体制

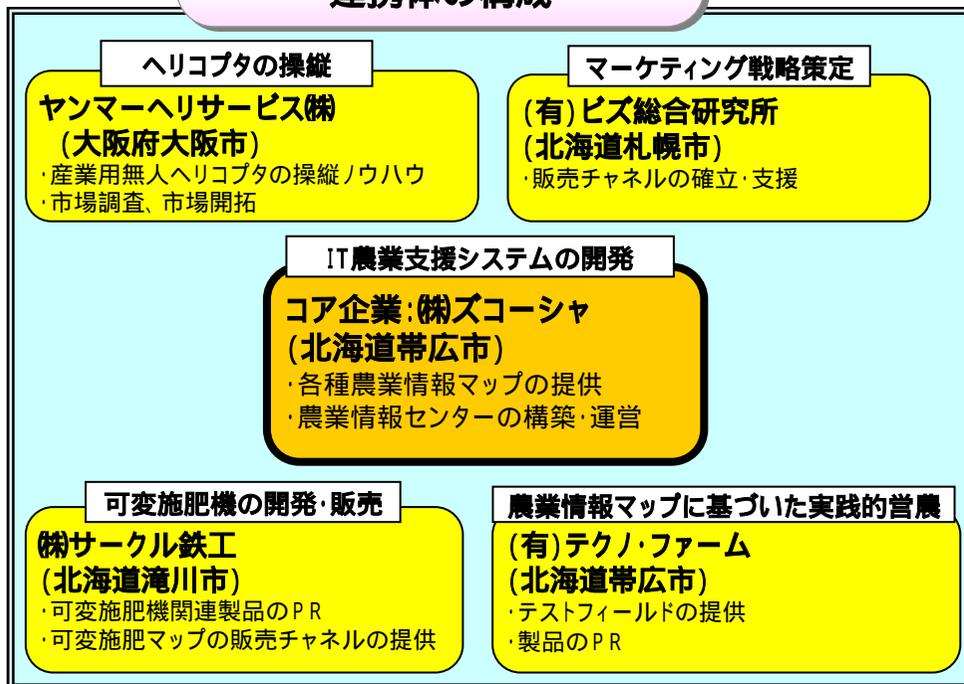
技術指導

北海道大学
北海道高度化情報化
農業研究会
JA帯広かわにし

協力企業

㈱イメージワン
人工衛星によるリモートセンシング映像の提供
㈱岩崎
PC・測位・通信機器の提供

連携体の構成



支援予定メニュー

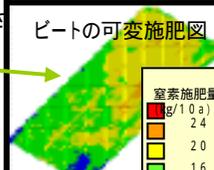
補助金
設備投資減税
低利融資
信用保証
投育会社による投資



【小麦収穫情報提供による収穫(イメージ)】



【施肥情報提供による可変施肥(イメージ)】



天候に左右されない情報

連携のきっかけ、特徴

- ・国内有数の畑作地帯で事業を営むズコーシャは、自社がこれまで蓄積してきた技術を活かして農業の効率化に貢献したいという意欲に満ちあふれている。
- ・本案件は、衛星画像や産業用無人ヘリコプタを用いて作物や土壌をセンシングして、小麦収穫適期情報や圃場の有効窒素量のばらつき等をマップ化して農業者に提供する事業。
- ・(株)ズコーシャはセンシングで得たデータをもとに、収穫適期や土壌中の有効窒素有等を解析する技術を有していたが、事業全体を構築できるノウハウに欠けていた。
- ・そこで、実証実験のための実験圃場を確保できる(株)ズコーシャの子会社である(有)テクノ・ファーム、産業用無人ヘリコプタに関するセンシング技術・ノウハウ等を有するヤンマーヘリサービス(株)をメンバーに加えた。
- ・また、有効窒素量のばらつき状況に応じて施肥できる可変施肥機を開発している(株)サークル鉄工、さらに、事業の効果的な普及拡大を図るべく、マーケティング戦略構築の専門家である(有)ビス総合研究所を加え、万全の体制で事業をスタートさせている。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社ズコーシャ 代表取締役 出口剛太	
所在地	北海道帯広市西18条北1丁目17番地	
創業	昭和34年2月	
資本金・従業員数	1,200万円	294名
業種	その他サービス業(総合コンサルタント)	
T E L	0155-33-4400	
F A X	0155-33-4401	
ホームページ	http://www.zukosha.co.jp	
e-mail	soumu@zukosha.co.jp	

PR等その他の情報

- ・センシング適期の人工衛星データが天候の影響で取得できなくとも、小麦の収穫適期情報を必ず提供します。収穫順番をマップにして提供しますので、効率的な収穫作業が可能となります。客観的な適期情報の提供により、早刈りや刈り遅れを抑制し、品質の向上、乾燥機の燃料コストの低減に貢献します。
- ・施肥量の多いビート作付け圃場において、土壌中の有効窒素量のばらつき情報をデジタルマップとして可変施肥機にインプットすれば、オペレーターは運行に注意を払うだけで、施肥量の調節は自動的に行われます。